

今号テーマ

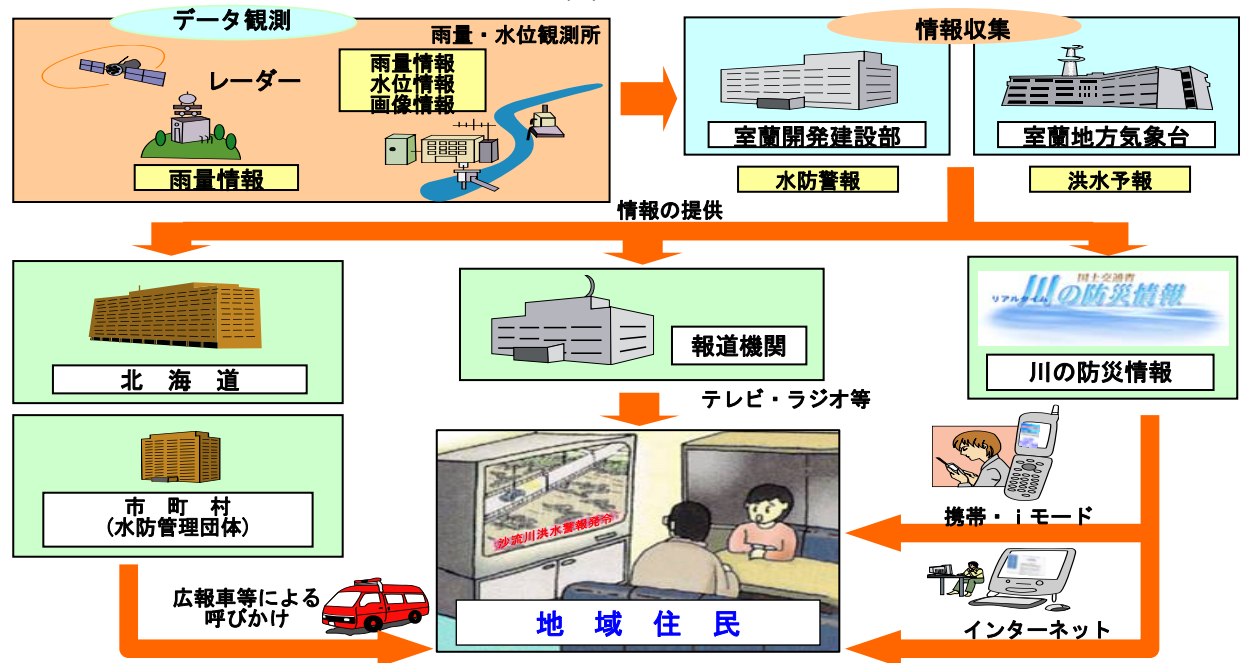
自然災害に備える

水害に備える ～ 河川事業 ～

室蘭開発建設部の河川事業では、一級河川である鶴川水系及び沙流川水系の改修や維持、二風谷ダムの管理等を行っています。近年頻繁におこる集中豪雨等の水害に備え、洪水予報や水防警報(*)などの情報を関係機関へ迅速に提供したり、発生した被害を軽減するための支援を行っています。

■河川：洪水予報・水防警報などの迅速な情報提供

洪水のおそれがある場合、室蘭地方気象台と共同で洪水の状況・予測水位等を示し、洪水予報として関係機関への伝達やメディアを通じて住民にお知らせしています。また水防活動(*)が必要な場合には、水防警報(*)として情報発表を行っています。

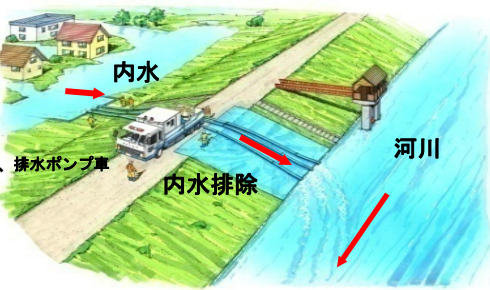


～用語解説～

【水防活動とは】河川が大雨により増水した場合に、堤防の状態を見回り、また、危険な箇所を発見したときは、堤防が壊れないように措置するなど、被害を防止・軽減すること。
 【水防警報とは】所定の河川流域において、洪水などによる災害のおそれがある場合、水防法に基づき、国土交通大臣または都道府県知事が水防に関わる機関に対して行う発表。
 【内水被害とは】堤防に守られている私たちが住む場所を堤内地といい、この堤内地に雨水が溜まり、家屋や耕作地が浸水する被害。

■河川：内水被害(*)軽減のための支援

出水時の内水被害軽減のための支援メニューとして、自治体からの要請に応じ、排水ポンプ車等の貸し出しを行っています。



災害対策用機械を派遣する

北海道開発局では、水害、地震等の自然災害発生時に、応急対策ができるように災害対策用機械を導入しており、室蘭開発建設部には排水ポンプ車3台と照明車2台が配置されています。東日本大震災に際しては、室蘭開発建設部から排水ポンプ車1台（他の開発建設部からは3台）を津波により浸水した宮城県東松島市東名地区に派遣し、自衛隊、消防等による行方不明者の搜索活動支援のため、排水作業を行いました。

排水ポンプ車

洪水災害時において排水作業を行う機械です。台風シーズンには出動要請の多い機械の1つです。

～東北被災地へ派遣～



災害対策用機械の訓練の様子



照明車

発動発電機・照明装置を搭載しており、夜間における照明作業、各種機械への非常用電源供給にも使用できます。近年では各種災害における夜間復旧作業支援、施設夜間監視などに出動しています。



排水ポンプ車による浸水区域の排水活動状況

農業施設の防災情報を共有化する

国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業とは

- ・土地改良施設の的確な操作運用を図りたい。
- ・自然災害の多発化で土地改良施設の水位等の情報を、地域の防災情報として使いたい。

開発局が、防災情報ネットワーク設備の整備や保守運用を実施

農業施設の観測情報や、気象等の防災情報をパソコンや携帯電話で取得できるよう、システムを整備。

施設管理者(土地改良区・市町村)

開発局

防災情報の共有・利用

防災中央データセンター（農林水産省）

・取水ゲートの開閉、緊急時の的確な操作、迅速な対応が可能になる。

大原地区(洞爺湖町)や早来地区(安平町)で実施

◆機器等（水位計等の計測機器）の新設・改良。

◆大原頭首工の水位、雨量、大原調整池へ流入する大原川の水位等の防災情報を常時監視できるシステムの導入。（平成22年度）

◆瑞穂ダム（早来地区）へ上記システム導入。（平成23年度）



大原調整池



大原頭首工



瑞穂ダム

今回ご紹介した事業等は、北海道総合開発計画その他を踏まえて行っています。同計画では、「安全・安心な国土づくり」として、頻発する自然災害に備え、ハード・ソフト一体となった総合的な防災・被害を最小限に抑える対策を行うこととされています。

【発行・編集責任者】

北海道開発局室蘭開発建設部 広報官 0143-25-7051 地域振興対策官 0143-25-7053

〒051-8524 室蘭市入江町1番地14

<室蘭開発建設部ホームページ> → <http://www.mr.hkd.mlit.go.jp/>

※今回は、日高地方の防災事業として河川事業を紹介するほか、災害対策用機械や胆振地方の農業に関する事業など、多彩な内容を盛り込みました。「胆振版」も近日中に発行する予定で、胆振地方の防災事業を中心にご紹介します。

北海道開発局では、「北海道開発局行政へのご意見・ご要望」メール窓口を開設しており、広く道民・国民の皆さんからのご意見をお聞きしています。詳しくは、こちらをご覧ください。 → http://www.hkd.mlit.go.jp/iken/iken_yobo.html